

Asia Fruit Logistica 2009

アジア国際果実・野菜マーケティング展

Closing Report

会場： 香港／香港コンベンション・エキシビション・センター
会期： 2009年9月2日～4日
9時 - 13時 Asiafruit Congress (会議)
13時 - 18時 Asia Fruit Logistica (見本市)

www.asiafruitlogistica.com



統計データ(2009)

出展者数	224社
出展国数	31カ国
来場者数	3,441人/52カ国
会議参加者数	500人/40カ国
開催間隔	毎年

アジアで唯一最大の国際的な新鮮果実・野菜専門見本市・会議 世界的な経済不況下で満足の行く成果

ASIA FRUIT LOGISTICA 2009

- アジアNo.1のトレードフェアであることを証明 -

9月2日～4日の3日間にわたって香港コンベンション・エキシビション・センターで行われたアジア・フルーツロジスティカおよびアジアフルーツ会議は、国際的な生鮮青果ビジネスにとってアジア屈指のトレードフェアであることをあらためて裏付ける結果となりました。世界31カ国から224社/団体がアジア・フルーツロジスティカに出展し、そして52カ国から、3,400人を超えるトレードビジターが来場しました。そのうち60%はアジアからの来場者となっています。また併催のアジアフルーツ会議には40カ国から500人が参加しました。「現在のような厳しい世界経済情勢の中で、これら来場者、出展者、会議参加者の数は、とてもすばらしい結果となった。今回の結果は、世界の生鮮青果ビジネスにとって、我々のイベントがいかに重要かつ比類のないものへと成長してきたかを明確に示している」と主催者であるGlobal Produce Events社の最高責任者Gérald Lamusse氏は述べています。アジア・フルーツ・ロジスティカ2009では、特に世界の生鮮青果の主要生産国や取引国がその存在感を強めていました。

出展者と来場者の傾向

地域別に見ると、今年もまたアジア諸国からの出展者割合が1番高く、35%に達しました。日本、韓国、台湾、タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシアといったアジアの有効国から出展があり、中でも中国からは55社が参加し、強力な存在感を示しました。欧州(25%)、南米(13%)、オセアニア(12%)、北米(9%)、アフリカ(6%)からも多くの出展があり、アジア・フルーツロジスティカの国際性の高さを示しています。今回、オーストラリア、オランダ、フランス、米国が、そのプレゼンスを増しました。また、南米の主要供給国であるチリとブラジルが初出展しており、その他ペルーとアルゼンチンも存在感のある出展となりました。「主要輸出先はアジアに移ってきており、アジア・フルーツロジスティカはそのマーケティング活動の拠点になっている」とLamusse氏は述べています。

出展者の地域別割合	
アジア	35%
欧州	25%
南米	13%
オセアニア	12%
北米	9%
アフリカ	6%

日本からの出展

2007年、2008年と続いた農林水産省の委託事業によるナショナル・パビリオンとしての日本からの出展は今回ありませんでしたが、和歌山県が出展し、非常に満足の行くビジネス成果をあげられたとの声がよせられています。

アンケート調査

アジア・フルーツロジスティカの来場者は、ブース規模の大きさや品揃えの豊富さに非常に満足しており、出展者は来場者の質の高さを評価するアンケート調査結果となっています。来場者の大部分はアジア青果業界の主要国のトップバイヤー達で、ほとんどが社内での決定権を持つバイヤーです。

アジアフルーツ会議

生鮮青果分野でアジアNo.1の国際会議であるアジアフルーツ会議には、40カ国から500人が参加しました。アジア各国の生鮮青果業界の多くは、世界経済危機に前向きに対応してきました。外食支出を減らしたいという消費者志向が、新鮮青果に対する需要の維持あるいは増加をもたらしています。これは会議テーマの1つであり、世界各国のハイレベルなスピーカーが、独自の洞察やアジアがもたらす重要な成長機会を最大限に生かすための専門的アドバイスを発表しました。このほか、ニールセン社による経済動向の概観とアジア圏の買物客の傾向からみた地域市場に対する販売促進方法の戦略的アドバイス、世界的な大手小売グループのTescoとMetroによるアジアと中国における農産物調達戦略等が発表されました。



次回開催：2010年9月8日～10日

アジア・フルーツロジスティカ/アジアフルーツ会議は、2010年も同じく香港コンベンション・エキシビション・センターで9月8日～10日に開催されます。

お問い合わせ先

メッセ・ベルリン日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町2-4
三番町KSビル 在日ドイツ商工会議所内

Tel: 03-5276-8730 Fax: 03-5276-8735

info@messe-berlin.jp